

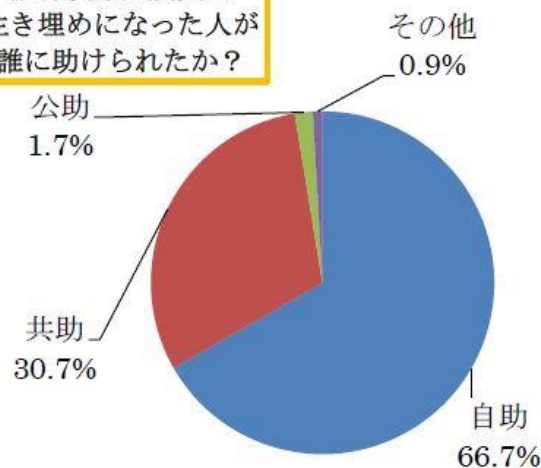
「つながり」と「きずな」が命を守る！

阪神・淡路大震災では、約 35,000 人が生き埋め等になりその約 30%近くが、隣人・友人（共助）によって救助されています。一方で救助隊等（公助）に救助された人は、2%にも満たない状況でした。



阪神・淡路大震災（提供：神戸市）

阪神淡路大震災で生き埋めになった人が誰に助けられたか？



また、平成 30 年 7 月の西日本豪雨災害でも近隣・町会の方が避難の声掛けをお互いにするこ

とで助かっています。これらは普段から「つながり」と「きずな」があったからです。お互いのことを知っているからこそ助けること・助けてもらうことができます。

平野区内の各地域では、連合振興町会をはじめとした町会・自治会など地域で活動する団体が主催の防災訓練などが実施されています。さまざまな活動を通じて顔が見える関係になることで地域における災害時の対応に備えています。



地域での訓練の様子

自分と家族の命を守る・つなぐためにも、町会・自治会に加入や活動への参加を通じて「つながり」と「きずな」をつくりましょう！

町会・自治会に関するお問い合わせは・・・

平野区役所安全安心まちづくり課（区役所 2 階⑳番窓口）☎06-4302-9734